

JHL NEWS

No.2

2011年10月31日

●発行●
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

北國がV2へ好発進！ オムロンはソニーを一蹴

～第36回日本ハンドボールリーグ・第1週～

第36回日本ハンドボールリーグが開幕した。第1週は10月29日、愛知などで女子3試合が行われ、2連覇を目指す北國銀行をはじめ広島メイプルレッズ、オムロンが白星スタートを飾った。

H C名古屋の挑戦を受けた北國は、立ち上がり若松のサイドシュートを皮切りに小野澤、鯉場のシュートで3点を連取したのに対し、名古屋も阪本のポストシュート、横井のミドルシュートで応戦。その後、ダブルポストやポジションチェンジ攻撃で得点を狙う名古屋だが、初戦の緊張からミスが多く、なかなか得点を決められない。一方の北國は相手のミスにつけ込んで速攻を繰り返し、ポスト横嶋を起点とした攻撃で前半を14-6とリードして終了した。後半開始直後、後藤の連続得点で加点した北國は、運動量豊富なディフェンスから速攻へとつなぎ、着実に点差を離していく。名古屋も伊藤、細田らで追撃したが、上町、樋口らで攻撃の手を緩めなかった北國が39-14で順当勝ちした。

上位4強を形成すると見られるオムロンとソニーセミコンダクタ九州が熊本で対戦。先制したのはソニーだったが、オムロンは永田の連続速攻ですぐに逆転。その後はソニー・田中、オムロン・石立と両センターのカットインなどで互角の展開が続いた。ゲームが動いたのは中盤過ぎ。オムロンは藤井の7mスローをきっかけに7連続得点で一気にペースをつかみ、混戦を抜け出した。対するソニーはディフェンスを6:0から3:2:1に変え、なんとか流れを引き戻そうとするが、サイド黒木らが散発的に決めるにとどまり、前半は18-11とオムロン7点リードで折り返した。後半に入ってもオムロンの勢いは止まらず、G K藤間を中心とした手堅いディフェンスから高田の速攻や新加入の金のポストシュートなどで着々と加点。なかなか反撃の糸口が見えないソニーは田中の好リードで新鋭・山野のミドルシュートや高橋のサイドシュートなどで追い上げをはかるが、若手を次々と投入するなど余裕のゲーム運びを見せるオムロンが終始リズムよく試合を運び、最終的に35-25の大差で勝利を握った。

広島-三重バイオレットアイリス戦は、立ち上がり互いにミスの多い試合となったが、地元の声援を受けた広島が三重のパスミスやシュートミスに乗じて速攻による4連取で8分には5-1と先行。その後は広島4点リードのまましばらく経過。15分過ぎから広島のミスが目立ち始め、三重は伊藤のミドルシュートなどで追い上げ、18分には7-8と1点差まで詰め寄せた。しかし、広島は宋のミドルシュートなどで態勢を立て直し、13-8と5点リードで前半終了。後半に入っても広島が引き離そうとしても引き離せず、三重が追いつけそうに追いつけないという互いにジリジリした展開が8分過ぎまで続いたが、広島は9分、11分とG K堂面が三重の7mスローをシャットアウト。こうなると試合は広島ペース。これまでと見違えるように攻守の動きがよくなり、多彩な攻撃から次々と得点を重ね、地元での開幕戦を31-18の大差で飾った。

次週は愛知、石川などで女子6試合が行われ、昨年の上位チームが直接対戦する北國-ソニー、広島-オムロン、広島-ソニーの好カードが組まれている。



㊦北國・後藤㊧広島・菅野㊨オムロン・藤井

第2週の日程

11月3日(水)	石川	小松総合体育館 (JR北陸本線小松駅徒歩20分)	13:00~	(女)	北國銀行 × ソニーセミコンダクタ
	愛知	ブラザー工業体育館 (地下鉄名城線堀田駅徒歩10分)	13:00~	(女)	H C 名古屋 × 三重バイオレットアイリス
	広島	東区スポーツセンター (アストラムライン牛田駅徒歩2分)	14:00~	(女)	広島メイプルレッズ × オムロン
11月5日(土)	愛知	中村スポーツセンター (地下鉄東山線中村日赤駅徒歩5分)	13:00~	(女)	三重バイオレットアイリス × 北國銀行
			15:00~	(女)	H C 名古屋 × オムロン
	広島	中区スポーツセンター (広島電本社前駅徒歩3分)	14:00~	(女)	広島メイプルレッズ × ソニーセミコンダクタ

※ソニーセミコンダクタ九州は、11月1日よりチーム名がソニーセミコンダクタに変更になります。

◆ 10月29日(土) 女子 愛知・ブラザー工業体育館	◆ 10月29日(土) 女子 広島・東区スポーツセンター	◆ 10月29日(土) 女子 熊本・熊本県立総合体育館
北國銀行 39 (14-6) 14 1勝0分0敗	広島メイプルレッズ 31 (13-8) 18 1勝0分0敗	オムロン 35 (18-11) 25 1勝0分0敗
H C名古屋 0勝0分1敗	三重バイオレットアイリス 0勝0分1敗	ソニーセミコンダクタ九州 0勝0分1敗
K 寺田 近藤 K <0/2> 0/0 若泉 藤藤 3/4 1/2 鯨場 伊佐 藤藤 0/0 2/3 5/5 上町 高橋 0/14 1/1 8/8 樋口 鈴木 0/0 2/3 石野 細田 4/11 6/7 小野澤 阪本 1/1 3/4 横嶋 高橋 1/2 2/3 後藤 家城 K <1/2> 0/1 翁長 秋山 1/2 K 田代 横井 2/4 0/1 仲宗根 井本 2/6 0/1 野路 5/7 八十島 4/7 若松 0/0 屋嘉	<3/4> K 堂面 浅井 K <1/3> 1/1 土屋 横川 0/0 0/0 村山 石黒 0/0 0/0 河田 阿久田 2/4 3/3 大前 谷口 0/0 1/2 4/12 植垣 石坂 5/8 5/9 宋海林 飯田 2/2 3/4 菅野 石川 0/0 6/9 早川 毛利 K <0/1> 1/1 呉成玉 黒川 0/0 0/2 五月女 漆畑 0/1 0/2 安齋 伊藤 3/10 1/4 2/3 高山 尾村 2/3 K 田口 早船 3/8 2/2 3/5 新城	<1/3> K 藤間 中島 K <0/3> 0/0 澤田 山野 3/14 5/5 高田 山田菜 1/1 0/0 卷 高橋 2/3 0/1 4/4 稲葉 田中 2/5 5/5 5/7 藤井 山田梨 1/1 6/10 石立 工藤 1/1 1/1 吉田 儀間 0/0 0/0 久野 古川 0/0 3/4 永田 川崎 0/0 K 山中 黒木 3/4 1/2 勝連 飛田 K <0/2> 2/2 前田 石井 0/0 0/0 松本 南 K 1/7 東濱 錦織 3/3 2/2 2/2 金且妍 張素姫 7/12
3/4 36/49 2(FPP)3 14/44 0/0 審判(貝沼・須原) 観客 352人	3/4 28/51 11(FPP)8 17/36 1/4 審判(佐々木・安田) 観客 454人	5/5 30/44 11(FPP)7 23/44 2/3 審判(多田・中館) 観客 760人

女子個人ランキング 第1週終了

得点王

1	藤井 紫緒 (オムロン)	10点	(1試合)
2	樋口 真央 (北國銀行)	9点	(1試合)
3	上町 史織 (北國銀行)	7点	(1試合)
3	張 素姫 (ソニー)	7点	(1試合)
5	小野澤香理 (北國銀行)	6点	(1試合)
5	早川 志歩 (メイプルレッズ)	6点	(1試合)
5	石立真悠子 (オムロン)	6点	(1試合)
8	高田 裕梨 (オムロン)	5点	(1試合)
8	錦織 新 (ソニー)	5点	(1試合)
8	新城 明奈 (メイプルレッズ)	5点	(1試合)
8	八十島智美 (北國銀行)	5点	(1試合)
8	石坂美奈子 (バイオレットアイリス)	5点	(1試合)
8	宋 海林 (メイプルレッズ)	5点	(1試合)
8	植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	5点	(1試合)
15	稲葉 由衣 (オムロン)	4点	(1試合)
15	若松 里佳 (北國銀行)	4点	(1試合)
15	細田 英子 (HC名古屋)	4点	(1試合)
15	伊藤亜衣美 (バイオレットアイリス)	4点	(1試合)

フィールド得点

1	樋口 真央 (北國銀行)	8点	(1試合)
2	張 素姫 (ソニー)	7点	(1試合)
3	小野澤香理 (北國銀行)	6点	(1試合)
3	早川 志歩 (メイプルレッズ)	6点	(1試合)
3	石立真悠子 (オムロン)	6点	(1試合)
6	高田 裕梨 (オムロン)	5点	(1試合)
6	上町 史織 (北國銀行)	5点	(1試合)
6	藤井 紫緒 (オムロン)	5点	(1試合)
6	八十島智美 (北國銀行)	5点	(1試合)
6	石坂美奈子 (バイオレットアイリス)	5点	(1試合)
6	宋 海林 (メイプルレッズ)	5点	(1試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	樋口 真央 (北國銀行)	8点/8射	1.000
1	上町 史織 (北國銀行)	5点/5射	1.000
1	高田 裕梨 (オムロン)	5点/5射	1.000
4	小野澤香理 (北國銀行)	6点/7射	0.857
5	藤井 紫緒 (オムロン)	5点/7射	0.714
5	八十島智美 (北國銀行)	5点/7射	0.714
7	早川 志歩 (メイプルレッズ)	6点/9射	0.667
8	石坂美奈子 (バイオレットアイリス)	5点/8射	0.625
9	石立真悠子 (オムロン)	6点/10射	0.600
10	張 素姫 (ソニー)	7点/12射	0.583

7mスロー得点

1	藤井 紫緒 (オムロン)	5点	(1試合)
2	新城 明奈 (メイプルレッズ)	2点	(1試合)
2	錦織 新 (ソニー)	2点	(1試合)
2	上町 史織 (北國銀行)	2点	(1試合)
5	樋口 真央 (北國銀行)	1点	(1試合)
5	植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	1点	(1試合)
5	伊藤亜衣美 (バイオレットアイリス)	1点	(1試合)

7mスロー阻止率

(7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	堂面 妙子 (メイプルレッズ)	3本/4射	0.750
2	家城 千香 (HC名古屋)	1本/2射	0.500
3	浅井友可里 (バイオレットアイリス)	1本/3射	0.333
3	藤間かおり (オムロン)	1本/3射	0.333

選手登録情報

〈大同特殊鋼〉No.13 加藤 高士 1989.10.30 187cm 93kg
右 横須賀中→愛知高→愛知大 ※開幕から出場可能

チャレンジ・ディビジョンも開幕

3回目となるチャレンジディビジョンも10月22日に開幕。12チームがA、Bブロックに分かれ、6チームのリーグ戦を経て来年1月の決勝トーナメント、順位決定戦に進んでいく。第1節では前回1位のHC岐阜(Aブロック)が2連勝するなど好スタートを切った。

〈Aブロック〉 10月22日・トヨタ車体吉原体育館 HC岐阜25 (15-7) 23トヨタ自動車 HC春日井24 (12-9) 23TOYAMA選抜 大同大学27 (15-12) 23セントラル自動車	HC岐阜28 (16-9) 21TOYAMA選抜 大同大学33 (14-8) 18トヨタ自動車 〈Bブロック〉 10月22日・神戸国際大学体育館 HC・MKA奈良27 (14-10) 17岐阜聖徳学園大学 八光自動車34 (15-7) 13同朋クラブ
10月23日・大同大学体育館 HC春日井18 (8-13) 17セントラル自動車	

第 36 回 日 本 ハ ン ド ボ ー ル リ ー グ 成 績 表 第 1 週 第 1 日 終 了 10月29日

順位	男子	大崎電気	湧永製薬	大同特殊鋼	トヨタ紡織九州	トヨタ車体	琉球コラソン	豊田合成	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
	大崎電気									0	0	0	0	0	0	0	0
	湧永製薬									0	0	0	0	0	0	0	0
	大同特殊鋼									0	0	0	0	0	0	0	0
	トヨタ紡織九州									0	0	0	0	0	0	0	0
	トヨタ車体									0	0	0	0	0	0	0	0
	琉球コラソン									0	0	0	0	0	0	0	0
	豊田合成									0	0	0	0	0	0	0	0
	北陸電力									0	0	0	0	0	0	0	0

順位	女子	北國銀行	広島メイプルレッズ	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北 國 銀 行						39 ○ 14	1	1	0	0	2	39	14	25
2	広島メイプルレッズ					31 ○ 18		1	1	0	0	2	31	18	13
3	オ ム ロ ン				35 ○ 25			1	1	0	0	2	35	25	10
4	ソニーセミコンダクタ九州			25 ● 35				1	0	0	1	0	25	35	-10
5	三重バイオレットアイリス		18 ● 31					1	0	0	1	0	18	31	-13
6	H C 名 古 屋	14 ● 39						1	0	0	1	0	14	39	-25

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。